

基礎から学ぶ5S活動

職場でよく聞く『5S』という言葉。職場で快適にはたらく上で重要な活動です。
では、『5S活動』は職場にどのような影響を与えるのでしょうか？

まずは5Sの意味を見ていきましょう

▶ 整理 (Seiri)

- 必要な物と不要な物を分ける
- 不要な物は捨てる（置かない）



▶ 整頓 (Seiton)

- 必要な物がすぐに使えるようにする
- 決められた場所へ置き、明示する



▶ 清掃 (Seisou)

- 作業場・設備を清掃し、キレイにする



▶ 清潔 (Seiketsu)

- 3Sが行き届いた状態を維持する



▶ 躰 (Shitsuke)

- 決められたルールを正しく守り、4Sを習慣づける



それぞれの頭文字「S」を取り、『3S』と呼ばれている

まずは3Sを継続して行うことが重要です！

3Sを徹底することで「清潔」の頭文字「S」が加わり、『4S』につながる

4Sを定着させることで「躰」の頭文字「S」が加わり、『5S』につながる

このように、5つの活動の頭文字「S」が5Sの由来となっています。

5Sが定着
すると...

- ▶ 安全で働きやすい職場環境をつくり上げる
- ▶ 必要な物を探す時間などのムダを減らし、作業効率を上げる
- ▶ 作業しやすくなることで、作業へのストレス軽減につながる

もし『5S活動』を怠るとどうなるか・・・次のページを見ていきましょう！

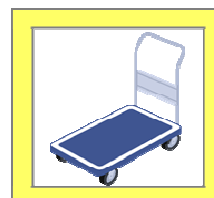
もし『5S活動』を怠ると・・・

1.整理・整頓できていない例

使用した作業用具を片づけずに放置すると、つまづいて転倒する危険があります。作業用具を使用した後は、元の決められた置場へ戻しましょう。

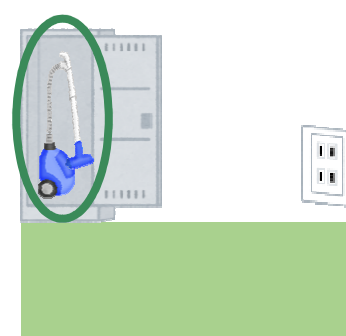
【例1】

通路に放置された
台車



【例2】

作業場に放置された
掃除機のコード

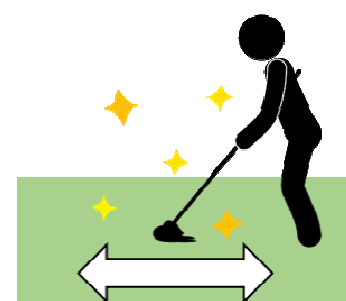


2.清掃できていない例

床が水や油でぬれていたり、床に粉や材料くずが落ちていると、足を滑らせて転倒する危険があります。床の清掃は定期的に行いましょう。

【例】

水でぬれている床



『5S活動』は、職場に潜む危険から身を守る上で欠かせない重要な活動です。
ただの美化活動と考えず、職場全員が一丸となって取り組むことが大切です。

★今月の安全衛生川柳 ～ 安全衛生課社員の作品です。5S活動を積み重ね、職場の危険を洗い出しましょう。

5Sで 潜むリスクが 顔を出す